

2020,9,8

長法寺城跡の準備に行きました

コースを一巡し、道標の補強（赤テープつけ）・倒木処理や草刈、登山道に塞がっている雑木処理などしました。とっても暑い日で、ハードな作業になりました。**明日も引き続き、気になっている所を整備する予定です。**

長法寺は、織田信長の焼き討ちにあい灰燼に帰したと伝えられています。それが史実かどうか明らかではありませんが、室町時代末に廃絶した後、この大寺院跡は、ほとんど人の手が入らない状態で長い眠りにつきました。

昭和31年、滋賀県立高島高校歴史研究部によって再発見された長法寺は中世の近江に栄えた山岳寺院の姿を今に伝えています。本堂を頂点とし、直線的な通路で区画された坊が整然と配置された計画都市のような姿であり、近世の城郭のような大規模な石垣・石塁・ひな壇状の造成地に見られる高度な土木技術を持つ技術集団としての寺院の姿・・・みなさんとゆっくり散策しながら、歴史ロマンを語り・楽しみましょう。みなさまのご参加をお待ちしています。（作業時間 8：00～16：30）

◆歴史/観察ポイントなど



◆作業の様子



明日も引き続き作業の予定です。みなさまのご参加をお待ちしています。